事業番号	04 05 11	事業改善シート(24年度実施事業分)		予算要求 [	]予算案	■点検
事業名	福祉人材確保対策事業費		担	部局	健康福祉部	
尹 未 石	<b>佃位八</b> 杓惟休刈泉 <del>李</del> 未負			課∙室		地域福祉課
〈参考〉	プロジェクト		当課	E-mail	chiiki-ful	kushi@pref.nagano.lg.jp
総合5か年	施策の総合的展開	6-2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり				
計画	旭東の総合的展開	3 福祉を支えるサービス体制の充実	DIIX	実施期間	H5	~

## 1 事業の概要

• • • • •	
目指す姿	福祉・介護分野の人材不足の解消を図り、就職希望者等が将来に希望を持って就労できる。また、従事者は自身のスキルアップを図り、質の高いサービスを提供する。 (介護福祉士登録者数(累計) 31,541人(H29))
現状	社会の急速な高齢化の進行に伴い、介護保険サービスの利用者が増加するなか、介護分野の有効求人倍率及び離職率は全産業に 比べ高く、より多くの質の高い介護人材の確保が求められている。
県が関与 する理由	□法令等義務 □内部管理 ■県でなければ実施不可 【左記の説明、根拠法令等】 □民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 □その他( ) 人材確保対策は市町村ではなく広域の県単位で行う必要性がある。 社会福祉法第93条・94条、セーフティネット対策等事業費補助金交付要綱
	① 成果目標(H24)
	福祉の職場説明会参加者数:1,000人 研修受講者数:6,990人
	② 事業内容 (単位:千円)

## 事業内容

項目	実施方法	H24事業実績		H	H25	
(共日	夫肔刀伝			(当初)	(決算)	(当初)
福祉・介護人材マッチング支援事業	委託	県内4か所に配置した専門員が、求職者の合った職場開拓等を実施。	りニーズに	31,601	31,601	25,980
潜在的有資格者支援事業	委託	潜在的有資格者に、知識・技術を再確認、 研修を実施し、再就職を促進。		0	0	9,576
中高生への福祉職場PR事業	委託	中高生に福祉の魅力を伝え、若い人材の 進。	『高生に福祉の魅力を伝え、若い人材の参入を促 』。			
福祉の職場体験事業	委託	学生や就職希望者に職場体験の機会を挑	学生や就職希望者に職場体験の機会を提供。			
福祉人材研修センター運営事業	委託	社会福祉事業従事者の確保のため設置し 人材研修センターを運営し、無料職業紹介	47,860	44,256	46,401	
キャリア形成訪問指導事業	補助金	介護福祉士養成施設の教員等が福祉施設 問研修を実施。	15,120	11,527	18,900	
現任介護職員等研修支援事業	委託	介護職員の研修参加時の代替職員確保を	介護職員の研修参加時の代替職員確保を支援。			213,294
介護雇用プログラム	委託	失業者を介護施設・事業所で雇用し、働き ムヘルパー2級等の資格取得を支援。	428,843	272,679	C	
複数事業所連携事業	補助金	複数の福祉事業所が、ネットワークを形成 研修等を実施。	17,348	10,568	0	
外国人介護福祉士候補者学習支援事業	補助金	外国人介護福祉士候補者を受入れた施記 得のため実施する研修を支援。	2,115	2,115	2,820	
			合計	753,427	583,724	336,929

	区	区 分(単位:千円)		22年度	23年度	24年度	25年度
	7		前年度繰越				
	予算		当初予算	659,868	1,063,823	753,427	336,929
事	額		補正予算	269,733	95,100	-7,353	
業			合計(A)	929,601	1,158,923	746,074	336,929
×10			国庫支出金	7,003	7,598	8,748	10,669
□	AØ	,	県 債				
ス	財源	Į.	その他(繰入金)	887,936	1,095,293	546,100	287,708
^			一般財源	34,662	56,032	191,226	38,552
۲	決	t 算 額(B)		706,829	885,210	583,724	
	概	算	職員数(人)	0.70	0.70	0.70	0.70
	人件		概算人件費 (C)	5,822	5,781	5,781	5,781
	概算事業費(B(A)+C)		712,651	890,991	589,505	342,710	

成果目標の達成状況							
項目	現況 (見込)		H25				
* A H		目標	成果	達成状況	目標		
福祉の職場説明会	1,000人	1,000人	1,228人	達成	J		
研修受講者数	6,990人	6,990人	7,591人	達成	ĺ		

目標に対 する成果 の状況

・福祉・介護人材マッチング支援事業において、求人している事業所と求職者が直接面接することができる「福祉の職場説明会」に多くの参加者があり、福祉の業務への関心が高まっていることは大きな成果である。無料職業紹介事業などと連携しながら、就職へ結びつくよう 努めている。

・福祉・介護分野において人材定着が進まない理由の一つに、キャリア形成の道筋が見えないことが挙げられていることから、福祉職場で 働く職員が、段階的に共通して求められる資質能力の習得を目的とした「福祉職員生涯研修」をH24から実施し、定着に向けた取り組みを 行っている

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業 をどのよう たいか。

□ 事業を実施しない ■ 事業を見直して実施 □ 事業を現行どおり実施

をどのよう ・ 将来にわたって、介護サービスの需要は増加が見込まれるため、引き続き福祉人材の確保・養成を行う必要がある。 今後、潜在的な有 資格者の就職支援活動や将来の担い手である中高生に福祉職場への理解・啓発を図っていきたい。 また、福祉職員の生涯研修体系に 沿って人材の育成に取り組んでいく。